

平成30年 7月市長定例記者会見

日 時：平成30年7月2日（月） 午後1時30分～午後2時

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、未来創造課長（司会）、総務課長、保健センター所長、射水市民病院経営管理課長、地域振興・文化課長

質疑応答の概要

Q1. 「射水ギュギュッと！ポイント」は、どの程度の活用、利用を見込んでいるのか。また、交換できる商品には食品が多いがそれ以外に広げていく可能性はあるのか伺いたい。

A1. 見込みの目標というよりはマイナンバーカードの取得の増加につなげたい。また、利用していただいて、商品のPRや消費拡大に繋がればと考えている。現在は通信販売とサイトから申し込むことになるが、店頭で自治体ポイントを使った買い物をするのもシステムとしては可能である。商会議所や商工会からは「店頭でポイントを使って商品を購入できる形を整えたい」という反応、問合せもいただいている。このような取組によって市内の店舗の活力を生み出していければ、いろいろな効果が期待できると考える。

Q2. まちプラは参加無料ということであるが、このようなものづくりの体験にはお金を払ってでも参加したいという人もいると考える。その際、「射水ギュギュッと！ポイント」を使って体験型のものに参加できるということもできるのか。また、交換対象商品の拡充の可能性はあるのか伺いたい。

A2. 「射水ギュギュッと！ポイント」を使った体験型の商品の提供については、可能だと考える。観光ツアーや体験ツアーは射水市の観光振興や交流人口を増やしていくための大事な取組である。その中で、自治体ポイントを利用することで市民の方だけでなく市外の方が射水市の自治体ポイントに交換し、射水を体験してもらえれば、市の活性化にもつながると考える。参加型の取組については、今回のまちプラでのNPO法人の取組も参

考にしながら、協力・連携を図っていきたい。